

「 Bangladesh 農村女性の証言と国際社会の責任」

現地からの証言と COP17 へ向けた提言

バンコクを襲う大洪水や飢饉を誘発した東アフリカの干ばつは、途上国での自然災害が、貧困や人道問題を悪化させ、ときには先進国経済にも深刻な影響を及ぼすことを浮き彫りにしました。このような災害は今後、気候変動の影響でさらに頻発、大規模化していくことが見込まれています。そして、気候変動と開発問題が交差する現場から見えるのは、気候変動の影響が世界中の人々に均等に訪れるわけではなく、その原因に加担していない貧しい人々が最も苦しんでいるという不条理な現実です。

南アフリカはダーバンで開催される COP17 の交渉を前進させるためにも、途上国の人々が日本や国際社会に対して求めていること、ひいては交渉の争点の背景を理解する必要性がこれまでも増して高まっています。

このような問題意識から、オックスファム・ジャパンでは、気候変動や貧困との闘いの最前線に立つ 2 名の人物を Bangladesh から招き、国内でスピーキング・ツアーを開催することになりました。現場からの証言に加え、政府間交渉の一つの懸案となっている気候資金等に関する具体的政策を COP17 へ向けて提言するとともに、交渉の前進へ向けて日本ならびに各国政府に期待される行動などについて考えます。

○東京会場

日時 2011 年 11 月 17 日(木) 18:00~20:00 (17:30 開場)

共催 明治学院大学国際平和研究所(PRIME)

場所 明治学院大学白金キャンパス 2 号館 3 階、2401 教室

JR 品川駅・目黒駅よりバスで約 10 分、東京メトロ白金高輪駅、白金台駅、高輪台駅より各徒歩約 7 分

<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/shirokane/>

○神戸会場

日時 2011 年 11 月 19 日(土) 15:00~17:00 (14:30 開場)

共催 関西学院大学人間福祉学部社会起業学科

場所 関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス G 号館 202 号教室

阪急電鉄甲東園駅、仁川駅より各徒歩約 12 分、甲東園駅よりバスで 5 分

http://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html

*本イベントは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

■登壇者プロフィール

○ショルバナヌ・カトウン

Bangladesh の農村で気候変動が農業、漁業、人々の暮らしに与える影響を自ら体験。その経験を元に、コペンハーゲンで開催された 2009 年の COP15 など、さまざまな場で気候変動に関する証言を行う。

○タパス・ランジャン・チャクラボーティ

オックスファム・イギリス Bangladesh 事務所 人道問題キャンペーン・オフィサー

ジャハンギルナガル大学(Jahangirnagar University)にて環境学博士号を取得。現場の適応プロジェクトの担当から国連気候変動枠組条約締約国会議でのアドボカシーなどに幅広く従事。

■お申込み

件名を【気候変動公聴会東京会場】もしくは【気候変動公聴会神戸会場】とし、氏名、参加希望の会場名、Email アドレスを明記の上、メール(oxfaminfo@oxfam.jp)またはファックス(FAX:03-3834-1025)にて、オックスファム・ジャパンまでお申込ください。

■問合せ先

特定非営利活動法人オックスファム・ジャパン 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6 丸幸ビル 2F

Tel: 03-3834-1556 Fax:03-3834-1025 Email: oxfaminfo@oxfam.jp (担当:鈴木)